題字は大神中3年 深田（ふかた） 美月（みづき） さんです

ひじ 議会だより

日出町議会
YouTube
放送局









今号の表紙

～日出中学校 男子ソフトテニス部～

日出中学校男子ソフトテニス部は2年生5名、1年生14名の部員19名で活動しています。

－今号の特集－

議員の眼

決算審査を次の予算へ

No.146
令和8年10月28日

発行：大分県日出町議会　TEL：0977-73-3135

議員が編集した手づくり議会だよりです

議員の眼

※12名の議員が全85の質疑で決算をチェック



議員が最も指摘し、改善を求め、提案する決算のポイント



部活動の地域移行 地域ぐるみの体制づくりを！

岡山 栄蔵 議員

部活動地域移行支援事業　508万円

学校部活動の地域移行に向け、指導者の確保や地域クラブへの移行を進める事業。

指摘・提案



部活動の地域移行を進めるには、指導者や受け皿となる地域クラブの確保が大きな課題。地域によって状況や課題も異なることから、教育部局だけで進めるのではなく、地域の協力も得ながら、子どもたちが安心して活動を続けられる持続可能な体制づくりを進めることが必要です。



町民ニーズに合ったデマンド交通へ見直しを！

豊岡 健太 議員

デマンド型公共交通運行事業　2,547万円

予約に応じて乗り合いで運行し、町民の日常生活の移動を支える公共交通事業。

指摘・提案



デマンド交通は改善を重ねてきましたが、予約の手間や希望する時間に利用できないなど、ニーズに十分応えられていない面があります。利用実態や利用者の声を検証し、対象者や運行方法も含め、より使いやすく持続可能な公共交通となるよう抜本的な見直しを求めます。



老朽化する学校施設 安心できる教育環境を！

河野 美華 議員

小・中学校管理事業　8,263万円

小・中学校の施設・設備の維持管理や修繕など、教育環境を整えるための経費。

指摘・提案



学校施設の老朽化が進み、修繕の要望が多く寄せられていますが、予算の範囲内で緊急性の高いものから対応している状況。トイレや学校備品など、子どもたちが毎日使う施設・設備を適切に整備するため、必要な予算を確保し、教育環境の改善を着実に進めるよう求めます。

※阿部議長と監査委員（岩尾議員）は決算審査に加わらない

決算審査を次の予算へ



今定例会議に付された認定第1号から第3号までの令和7年度決算は、通年会期制を活用して継続審査とし、10月に議会としての意見を取りまとめたうえで、11月の臨時会議で採決する予定です。

1 9月定例会議
決算を審査
令和7年度決算を詳しく審査し、課題や改善点を整理します。

2 10月
意見を集約
各委員会の審査結果や議員の意見をもとに、議会としての意見(提言)を取りまとめます。

3 11月臨時会議
意見(提言)書を提出
取りまとめた意見(提言)書を町長に提出し、次年度の予算や施策に反映するよう求めます。
意見書(提言書) → 町長へ

4 次年度へつなぐ
町の未来に生かす
議会の意見が次年度の予算や施策に反映されるよう、継続してチェックし、よりよいまちづくりにつなげます。

一般会計 決算総額

歳入	143億2,612万円
歳出	139億1,702万円
収支	4億　910万円



決算の詳細は『広報ひじ』11月号をご覧ください



暮らしを支える道路 傷む前に適切な補修を！

佐藤 孝介 議員

道路維持補修事業　4,389万円

町道の修繕や維持管理など、安全で安心な道路環境を維持するための事業。

指摘・提案



大雨などにより道路のひび割れや陥没が発生し、修繕や補修の必要性が高まっています。道路は暮らしや地域経済、防災を支える重要な生活基盤。道路の状態を適切に把握し、地域から寄せられる要望を踏まえながら、必要な箇所を着実に補修していくよう求めます。



農道・水路の補修を町独自の事業に！

三浦 利洋 議員

農地費（原材料支給含む）　264万円

農道や水路の補修、農地の保全など地域の農業基盤を維持するための経費。

指摘・提案



農道や水路などの補修では、原材料は町から支給される一方、工事費用は地元負担となっています。県営事業での一定の地元負担は理解できるが、農地を守るために必要な農道・水路の補修については、町独自の事業として予算化し、地域の負担軽減を求めます。



「売れる農産物」を育て農業所得の向上を！

今宮 明 議員

園芸産地づくり計画策定・推進事業　30万円

園芸作物の産地づくりを進め、農業の担い手確保や所得向上につなげるための事業。

指摘・提案



後継者や新規就農者を確保し、農業を活性化するには農業所得の向上が重要。苗や肥料への支援だけでなく、町の農産物としてブランド化できる作物を選定し、生産から販売まで一貫して支援する仕組みを構築して農家の所得向上につなげるよう提案します。

議員の眼

議員が最も指摘し、改善を求め、提案する決算のポイント



基金保有水準と政策投資のルール化を！

森 昭人 議員

令和7年度末基金現在高　47億1,056万円

基金は、将来の財政需要や災害などに備え、町が目的に応じて積み立てている財源。

指摘・提案



財政調整基金は15億円超、減債基金も10億円超となり、基金は一定の水準を確保しています。今後は基金をどこまで保有するのか明確な基準を設け、必要な備えを確保したうえで、財政の余力を新たな政策や将来への投資につなげるルールづくりを提案します。

決算のここに注目



1 過去2番目の大きな決算規模

一般会計は歳入、歳出ともに前年度を上回りました。一般会計と特別会計を合わせた歳出決算額は約200億円。

2 黒字を確保し、基金も積み増し

実質収支は2億2,520万円の黒字。財政調整基金を取り崩さず、基金残高は約47億円となりました。

3 経常経費の増加に注意

人件費や扶助費などが増加し、経常収支比率は94.7%。限られた財源を有効に活用し、事業の効果や持続性を検証する必要があります。



地域の道路補修材料支給の見直しを！

熊谷 健作 議員

道路維持補修事業（原材料支給）　590万円

地域が道路を補修する際、生コンクリートなどの材料を町が支給する事業。

指摘・提案



これまで地域の要望に応じて生コンクリートなどを支給し、住民が道路を補修してきましたが、高齢化などにより地域での作業が難しくなっています。今後は、材料支給を見直し、小規模な補修も業者へ発注する仕組みに転換すべきと考えます。



必要な人に届く産後ケアの充実を！

池田 淳子 議員

産後ケア事業　247万円

出産後の母親の心身の回復や育児不安を軽減し、安心して子育てできるよう支援する事業。

指摘・提案



産後ケアは、母親の心身の回復や育児不安を軽減する大切な支援。予算を増やすだけでなく、必要な人に情報が届き、利用しやすい仕組みにすることが重要です。利用状況や利用者の声、支援後の状況も把握しながら、産後の切れ目のない支援につなげるよう求めます。

一般会計だけじゃない！ 暮らしを支える町の会計

町の決算には、一般会計のほか、特定の目的のための特別会計や、独立して経営を行う企業会計があります。

特別会計（歳出総額 60億5,153万円）

国民健康保険	介護保険
28億6,750万円	26億1,765万円
介護サービス	**後期高齢者医療**
2,752万円	5億3,886万円

企業会計 ※金額は税抜き

水道事業		下水道事業	
総収益	4億617万円	総収益	6億7,289万円
総費用	3億4,186万円	総費用	6億3,813万円



若者の定住を後押し奨学金返還への支援を！

金元 正生 議員

移住・定住促進事業　645万円

移住・定住を促進するため、移住者への給付や空き家の利活用などを支援する事業。

指摘・提案



若者の都市部への流出や人手不足が課題となるなか、若い世代の定住を後押しする取組が必要です。県内でも導入されている奨学金返還支援制度を日出町でも創設し、経済的負担を軽減するとともに、定住や地元就職、人材確保につなげるよう提案します。



増える鳥獣被害 電気柵の支援拡大を！

衛藤 清隆 議員

鳥獣被害防止対策事業補助金　45万円

イノシシなどによる農作物被害を防ぐため、電気柵などの設置費用を支援する事業。

指摘・提案



イノシシによる農作物被害が広がり、被害防止のための電気柵の申請も増えています。令和7年度は13件を助成しましたが、申請が多く、補助金の予算枠が早期になくなる状況もあります。農作物を守り、農家の負担を軽減するため、需要に応じた予算の拡大を求めます。



支援が必要な子どもへ 支援員のさらなる充実を！

上野 満 議員

会計年度任用職員報酬　5,402万円

学校教育課の会計年度任用職員30名に支給した報酬に要した経費。

指摘・提案



支援を必要とする児童が年々増えています。子どもたち一人ひとりに必要な支援を行うとともに、教員の負担軽減や働き方改革につなげるためにも、特別支援教育支援員のさらなる増員が必要と考えます。



決算の詳細は『広報ひじ』11月号をご覧ください

9月定例会議 議案審議

9月定例会議では、カスタマー・ハラスメントのないまちづくり条例をはじめ、町内6体育館の空調設備整備などを盛り込んだ補正予算、令和7年度各会計の決算認定など、計28件を審議しました。

条例 議案第13号

働く人の尊厳と安心を守る「カスタマー・ハラスメントのないまちづくり条例」を制定

内容 働く人が暴言や不当な要求などで傷つけられることなく、安心して働けるまちを目指す条例です。町、顧客等、就業者及び事業者の責務を明らかにするとともに必要な事項を定めることにより、誰もが安心して働くことができ、事業活動を行うことができる環境を確保し、町民生活の充実向上と町内経済の健全な発展を目指すための条例です。

Q 施行日は。

A 令和8年10月1日です。

Q 情報提供や啓発活動は。

A 町報やホームページへの掲載、商工会の会報送付とあわせてチラシを同封する予定です。



条例 議案第15号

豊岡公園の一部供用開始に向け 日出町都市公園条例の改正

内容 都市公園として一部供用開始するため、名称と所在地を定める改正です。

Q 一部供用箇所はどこですか。

A 公園内の園路のみです。

Q いつから園路の使用ができますか。

A 令和8年12月1日からです。


豊岡公園　園路


現在開発中（多目的広場）

上記以外の議案の詳細はこちらをご覧ください

議案の可否審査

9月定例会議の議案は、全て全会一致で原案通り可決（同意・採択）しました。

決算（認定第1号、第2号、第3号）については継続審査となり、引き続き審査します。

各議案の審査結果はこちらをご覧ください

9月定例会議（9/1～9/29）	件数
予算	7件
条例	6件
事件議決	4件
人事	1件
決算	3件
報告	3件
請願	1件
意見書	2件
決議	1件
合計	28件

国や関係機関に意見書を提出します

地方財政の充実・強化を！

地方財政の充実・強化に関する意見書について　発委第3号

請願者　大分県大分市大手町3-2-9　大分県地方自治研究センター
理事長　鳥谷（とりたに）　一生（かずお） 氏

趣　旨　今、地方公共団体には、少子・高齢化にともなう社会保障制度の整備、子育て施策、物価高騰対策などに加え、多発する災害への対応など多岐にわたる役割が求められる中、地域公共サービスを担う人員は圧倒的に不足しており、職場における疲弊感は日々深刻化しています。2027年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、社会全体で求められている賃上げ基調と相応する人件費の確保をはじめ、一般財源総額の充実が図られる地方財政を実現するよう求めます。

非核三原則の堅持を！

非核三原則の堅持を求める意見書について　発議第2号

提出者　池田（いけだ）　淳子（じゅんこ） 議員

趣　旨　非核三原則「持たず、作らず、持ち込ませず」は、我が国が平和国家として歩む上での基本原則です。我が国は世界唯一の戦争被爆国として、核兵器のない世界の実現に向け主導的役割を果たすことが求められています。国際情勢が緊迫する中にあっても、非核三原則を将来にわたり堅持するよう、国会及び政府に強く求めるものです。

決議を全会一致で可決しました

通学路の緊急安全対策を！

歩道設置工事等に伴う通学路の緊急安全対策を求める決議について　発議第3号

提出者　岡山（おかやま）　栄蔵（えいぞう） 議員

本決議は、川崎小学校周辺の歩道設置工事等に伴い、通学路の緊急安全対策を求めるものです。現在、工事の影響で利用できる道路が限られ、登下校時には児童や送迎車両が集中し、渋滞や速度超過など事故につながりかねない状況です。工事は現在も進行しており、事故が起きてからでは遅いため、町及び教育委員会に対し、学校、警察、道路管理者等と連携し、児童の安全確保に必要な対策を速やかに講じるよう求めるものです。

決議とは…？　議会の意思を表明する議決のことで、基本的に政治的効果を期待したり、議会の意思を広く対外的に明らかにするために行われます。

人事　同意第11号

教育改革に期待

教育委員会委員の任命に同意し、次の方が新任されました。

小原（おはら）　徳三（とくぞう） 氏（豊岡地区）



本会議を傍聴してみませんか

議会では、町の予算や条例、施策などを審議しています。議会の活動を身近に感じられますので、ぜひ傍聴にお越しください。

【傍聴受付】
当日午前8時30分から
新館3階議会事務局

予算審議

事業の実施や制度改正への対応など、新たに必要となった経費として、歳入・歳出にそれぞれ**7億3千209万円**を追加する補正予算案を可決しました。補正後の一般会計予算は、**総額152億9千218万円**となりました。

補正予算 議案第7号

体育館にエアコン設置 4億円

内容 災害時の避難所ともなる町内の体育館にエアコンを設置します。児童生徒の熱中症対策や快適な教育環境の整備を進めるとともに、避難時の環境改善にもつながります。

Q どこの体育館に設置しますか。

A 全小中学校に加え中央体育館と川崎体育館です。

Q 設置完了は。

A 大神小学校・白出中学校・中央体育館は令和8年度末まで、豊岡・白出・藤原・川崎小学校、大神中学校は9年7月まで、川崎体育館は9月までを予定しています。

Q 前倒しはできませんか。

A 工事発注から資材調達まで4~5カ月かかるため、大幅な工期短縮は難しいですが、可能な限り前倒しできるようにします。



補正予算 議案第7号

麦・大豆の生産力を強化 335万円

内容 麦・大豆の生産拡大に向け、農業機械の購入費を補助します。作付面積を拡大することで、地域農業の生産力向上を図ります。

Q 作付面積拡大のスケジュールは。

A 現在8haで令和9年には13ha、5年後には18haの予定です。



補正予算 議案第19号

※スマート農業でいちご栽培 3千万円

内容 九電アグリラボ㈱による、スマート農業を取り入れたいちごの栽培が始まります。栽培ハウスの整備に向け、測量設計や基盤整備を進めます。

Q 整備する地区は。

A 藤原東部地区です。

Q 操業開始は。

A 令和10年4月を予定しています。



※ **スマート農業＝** ICTやロボット技術を活用し、作業の効率化や品質向上を実現する新たな農業のこと

7月臨時会議

補正予算、工事請負契約を賛成多数で可決

補正予算 議案第5号

文化財の保存・修繕

内容 町指定史跡「赤松橋」では、経年劣化による石材の損傷が確認され、補修工事が行われています。また、「日出藩木下家墓所」では、樹木の成長による石垣への影響や倒木の危険があるため、樹木の伐採などを実施します。



契約 議案第6号

川崎小学校 仮設校舎 工事請負契約の締結

内容 川崎小学校の仮設校舎の建設工事の入札を6月28日に一般競争入札要件設定型で行いました。

反対討論

町発注工事では、公平な競争性の確保に加え、町内業者の育成や地域経済への貢献も重要です。同額入札を抽選のみで決定する現行制度には課題があると考え、地域貢献を適切に評価できる制度への見直しが必要なことから、反対します。

岡山 栄蔵 議員



※イメージ図です

上程された議案・概要・結果

賛成:○ 反対:●
全員賛成:全賛 賛成多数:賛多
賛成少数:賛少 退席:退
(※ 議長は採決に加わらない)

		結果	佐藤孝介	今宮明	三浦利洋	河野美華	岡山栄蔵	豊岡健太	衛藤清隆	上野満	金元正生	岩尾幸六	池田淳子	森昭人	熊谷健作	阿部真二
予算																
議案第5号	令和8年度日出町一般会計補正予算(第2号)について	可決(賛多)	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−
その他																
議案第6号	工事請負契約の締結について	可決(賛多)	●	●	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	−

総務産業常任委員会

ひじまちKIRARIプレミアム商品券 第7弾

内容 町民の生活支援（物価高騰対策）として30％上乗せの商品券を5万冊（販売価格5千円）発行しました。前回までは1万円単位でしたが、今回は議員からの提案により5千円単位に変更になりお求めやすくなりました。

Q 商品券利用期間は。

A 9月28日㈰～12月31日㈫です。

令和7年度ふるさと納税 収支・決算額

内容 令和7年度のふるさと寄附金の合計は7億3466万円でした。

Q 令和6年度実績との差額は。

A 令和6年度実績は、8億7千553万円で、7年度は約1億4千万円減少しました。

大田公園親水広場 水とふれあい憩いの場

内容 地域の方たちが気軽に水とふれあい、くつろぎや憩いの場として親しまれている親水広場をこのたびリニューアルしました。噴水やミスト付きテント、手足洗い用の水栓などを新たに設置し、夏季でもより涼しく快適に過ごせる環境を整えました。


子どもたちも大喜び

Q 冬場はどうなりますか。

A テントやミストは片付けて、親水広場自体の水を抜くかは検討中です。

ベンチ椅子14基を寄贈

日出ライオンズクラブ60周年記念事業

内容 日出ライオンズクラブ結成60周年記念事業として、城下公園（日出小学校前の町道二ノ丸南浜線沿線）に御影石製のベンチ椅子14基を寄贈いただきました。


憩いのひとときを

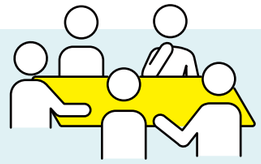
現地視察 大神漁港

内容 8月25日に大分県漁協青年部日出支部との意見交換会を実施し、そのなかでいただいた要望の確認で現地視察を行いました。港内の救難はしごは4カ所ですが、実際に船が停泊している場所には、はしごの設置が1カ所しかなく、万が一海に落ちた際、大変危険だと感じました。今回いただいた要望に関しては回答書を漁協青年部へ提出します。


海に落ちたら危険です



大分県漁業協同組合青年部 日出支部の皆さんと意見交換



これからの漁業を支えるために何が必要なのか。

漁業の現場が抱える課題と、これからの取り組みについて率直な声を聞きました。


支部長 垣迫 誠さん

水産資源の増大と将来の漁獲につなげるため、シロアマダイを放流して


副部長 宮崎 修さん

盗難や不法投棄を防ぐため、**防犯カメラを設置**してほしい

燃油や資材の高騰が漁業経営を圧迫しており、**継続的な支援**を


野中 祐一さん

海の栄養不足を改善し、海藻類の成長を促すため、肥料散布に取り組んで

港を安全・快適に利用できるよう、雑草や雑木を定期的に除去して



町は第6次総合計画で、海や漁村の地域資源を活かして地域のにぎわいや所得、雇用を生み出す※**海業（うみぎょう）の推進**を掲げています。種苗放流や海底耕耘など**豊かな海を守り育てる取り組み**と、魚食文化の普及や海産物などのPRなど**魚の価値を高める取り組み**を組み合わせ、漁業所得の向上につなげていくことが求められます。

委員会では、青年部から寄せられた要望について協議し現地視察を行うなど、今後も調査を継続します。

※海業とは？
海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用し、地域のにぎわいや所得、雇用を生み出す取り組み。


宮崎 大輔さん

真那井漁港の浚渫（しゅんせつ）工事を行ってほしい

漁場環境の改善に向け、町の事業として青年部に海底耕耘（かいていこううん）を依頼して


廣津 豊さん

魚の消費拡大につなげるため、外部講師を招いた**料理教室**を続けてほしい

市場へ安全に往来できるよう、特に漁港に行く**道路を補修**してほしい


佐藤 典昭さん

万一の海中転落事故に備え、**港内の救難はしご**を増やして


会計 佐藤 公一さん

地元の魚や市場、魚屋、飲食店などをPRし、**魚価向上と販路拡大**を

福祉文教常任委員会

おはよう とよおかこども食堂

豊岡地区で子ども食堂開設

内容 地域住民が世代を超えて交流できる場の創出や住民同士の支え合い活動を促進する地域づくり事業の一環として、新たに子ども食堂を開設しました。


おいしくいただきます

Q 開催場所と実施主体は。

A 場所は豊岡地区公民館で、実施主体は豊岡地区婦人会です。

Q 今後の実施予定は。

A 毎月第3水曜日の7時30分から8時まで開催していく予定です。

指定福祉避難所

町内2施設を指定

内容 一般の避難所での避難生活が困難な高齢者や障がい者などの要配慮者で、あらかじめ町が調整して登録した方を対象に、直接避難することができる指定福祉避難所として暘谷苑とサンライズ・ビューの2施設を指定しました。

Q 収容人数は。

A 暘谷苑は12人（本人とその家族）、サンライズ・ビューは5人（本人のみ）です。

日出町こども計画

子どもの安全・安心な環境の確保を目指して

内容 こども基本法により定められている子ども・若者の意見を取り入れ、遊び場や居場所づくり、安全・安心な環境の確保等を進めることを目指した「第1期日出町こども計画」を策定します。

Q 計画期間は。

A 令和9年度から11年度までの3年間となります。

Q 子ども・若者の意見の取り入れ方は。

A 小学5年生、中学2年生、高校1・2年生年代を対象としてアンケート調査を実施します。

現地視察

うのスマイル児童クラブ

内容 8月4日に「うのスマイル児童クラブ」の現地視察を行いました。

令和5年に運営事業者から施設の移設の要望があり、検討を重ねた結果、現在の土地は町が購入し、建物は寄贈していただきました。

耐震改修工事で建物の安全性を確保するとともに、空調設備工事、床の張り替え、内装工事などのリフォーム工事を実施しました。


安心して通える施設になりました



広報広聴常任委員会　広報チーム

視察レポート 先進地に学ぶ!!

「ひじ議会だより」リニューアル

兵庫県市川町議会
町民目線の広報


「特集」が充実しています

「いちかわ議会だより」は、町村議会広報全国コンクールで優良賞を受賞。『町民が参画する広報、手に取り読んでもらえる広報』を編集方針とし、住民の関心が高い内容を優先して掲載しています。写真やスペースを効果的に活用し、表紙写真を町民から公募するなど、町民参加を大切にした紙面づくりが印象的でした。また、年間を通して特集テーマを設定し、毎号「特集」を広報の目玉として掲載している点も参考になりました。

兵庫県神河町議会
読まれる広報へ


より伝わる議会だよりを目指して

「議会だより かみかわ」は、若い世代へのアンケートなどで把握した「読まれていない」「内容が難しい」といった課題を踏まえ、令和6年7月に全面リニューアル。親しみやすさと読みやすさを重視し、若い世代も意識した大胆な紙面改革が特徴的でした。全国コンクールでも奨励賞を受賞しており、住民目線で紙面を見直す姿勢が大変参考になりました。

研修を終えて

両町とも、議会が伝えたいことだけでなく、住民が知りたい、読みたい内容を意識して紙面づくりを行っていました。写真・見出し・特集の工夫など多くの学びを得ることができました。今回の研修内容を「ひじ議会だより」に活かし、親しみやすく、読んでもらえる広報を目指します。

Gikai
TOPIX

大分県町村議会議員研修会に参加しました

講義 「誰のための議会か ～議員が成長するために～」
講師 元会津若松市議会議長　目黒（めぐろ）　章三郎（しょうざぶろう）氏



視察を受け入れました

福岡県岡垣町議会 文教厚生常任委員会
保健福祉センターの取り組みについて



9人が **町政を問う** 一般質問

2026.9月3・4日

9月定例会議では、9名の議員から町政全般について、2日間にわたり活発な議論が展開されました。

一般質問通告書はこちらをご覧ください

14ページ 稼ぐ力をどう高めるのか 質問者／岡山 栄蔵 議員
15ページ 医療用ウィッグの助成は 質問者／池田 淳子 議員
15ページ 遊休農地解消の方策は 質問者／今宮 明 議員
16ページ 旧南端小中学校をなぜ売却か 質問者／衛藤 清隆 議員
16ページ ネーミングライツ導入の考えは 質問者／豊岡 健太 議員
17ページ 障がい者タクシー補助の拡大を 質問者／熊谷 健作 議員
17ページ 小動物捕獲報奨金の増額は 質問者／上野 満 議員
18ページ 地方創生でハード整備を 質問者／森 昭人 議員
18ページ 母子避難所の設置は 質問者／河野 美華 議員

稼ぐ力をどう高めるのか



【答】地域内経済循環を高めます

質問者／岡山 栄蔵 議員（川崎地区）

問 寄附額を伸ばすことと あわせて、事業運営の効率化を図り、実質的に町に残る財源を増やしていく考えは。

課長 寄附額、募集経費、実質的に活用できる財源の3つを基本的に事業の評価として、最終的に町に残る財源を最大化していきます。

問 町が活用できる財源がいくら残ったのか、町民に分かるように公表しては。

課長 充当した事業の内容と成果までを公表パッケージにするなど検討を重ねていきます。

問 年間どの程度町内事業者に支払われ、地域経済に還元されていますか。

課長 全85事業者中、町内事業者56社への返礼品の支払額は1億1千万円です。

問 町内事業者にいくら支払われたのか、実質財源がいくら残ったのか、毎年度示していく考えは。

課長 毎年度検証項目として設定し、決算審査などのときに公表するように努めます。



寄附金の効果的な活用を

医療用ウィッグの助成は



【答】県が実施しています

質問者／池田 淳子 議員（藤原地区）

問 がん治療による外見の変化に対して患者の方が自分らしく生活し、社会参加を続けていくための※アピアランスケアが重要です。町ではどのような相談・支援を行っていますか。

課長 特化した専用の支援・相談窓口は設けていませんが、総合的な健康相談の中で対応しています。内容に応じて関係機関やがん相談支援センターなどの専門的な相談窓口につなぐなど、必要な情報提供を行っています。

問 医療用ウィッグや乳房補整具などの購入費に対する町独自の助成制度は。

課長 町独自の助成制度は設けていませんが、県で補整具などの購入費の一部を助成する「がん患者社会参加応援事業」が実施されています。

問 制度があっても必要とする方が制度の存在を知らなければ利用することができません。町民に対してどのような周知、情報提供を行っていますか。

課長 窓口や電話で相談や問合せがあった場合には、必要に応じて情報提供を行い制度の利用につなげています。



治療中も自分らしく

遊休農地解消の方策は



【答】稼ぐ農業と若者の育成支援です

質問者／今宮 明 議員（藤原地区）

問 遊休農地が増えた主な要因は。

局長 農業者の高齢化と後継者不足に加えて圃場整備率が低いことや耕作条件の悪い農地が多いことが要因だと考えます。

問 地域計画で将来の耕作者の決まっていない農地の今後は。

局長 認定農業者や農業団体などを中心に集積・集約化を図っていきます。

問 荒廃が進んで再生困難となった農地の取扱いは。

局長 調査して、非農地判断を行い、農地台帳から抹消します。

問 今後、遊休農地をどのようにして減少させ、次の世代に引継いでいきますか。

町長 まずは稼げる農業を目指し特色ある農業を行っていく必要があります。同時に、若い人に従事してもらうために補助事業などを活用して育成していくような仕組みづくりを確立し、農業を活性化させていくことが重要だと考えます。



もう農地には戻りません

※ **アピアランスケア**＝がんやがん治療に伴う外見の変化に悩む患者に対し、医学的・整容的・心理社会的な支援を行って苦痛を軽減し、その人らしく過ごせるようにサポートすること

旧南端小中学校をなぜ売却か



【答】維持管理費の増加が見込まれるため

質問者／衛藤（えとう）　清隆（きよたか）　議員（南端地区）

問 旧南端小中学校は、廃校後、施設の貸付けの公募を行ってきましたが、売却方針に至った経緯は。

課長 小中学校の一部や体育館は築40年が経過し、例年100万円程度の経費がかかっています。今後、さらに維持管理費の増加が見込まれることから、「貸付けではなく売却が望ましい」との意見でまとまったところです。

問 投票所・避難所などで利用している校舎や体育館、グラウンドの代替案はありますか。

課長 売却に当たっては、当面の間、町が施設の一部を利用することを条件に考え、地区の活動に支障が生じないよう検討していきます。



地区の拠点となる活用を

問 売却はどのように進められるのですか。また、地域のことより金額を優先するのでは。

課長 現在、第1回目のプロポーザルによる公募に向けて準備をしている段階です。町の提示する金額での売却が、まず条件ですが、金額に加え、事業計画書の審査を行い、最も得点の高かった業者が優先交渉権者ということになります。

ネーミングライツ導入の考えは



【答】積極的に進めていきます

質問者／豊岡（とよおか）　健太（けんた）　議員（豊岡地区）

問 経常収支比率の推移は。

課長 令和6年度が95・1％、7年度は94・7％で0.4ポイント改善しました。

問 経常収支比率とは。

課長 家計に例えると食費や住宅ローンなど、必ず支払わなければならない固定経費が、収入に対して何％占めているかを示すものです。

問 改善したとはいえ、高い水準が続いていますが目標値は。

課長 一般的には80％程度が理想と言われていますが、現実的には90％程度を維持することが目標です。

問 安部町長が就任して2年が経ちますが、財政改善策の実績は。

町長 事業を行う際には極力、町単独の資金を抑えるべく国や県の資金を活用しました。また、財源確保の点では町有資産の賃貸や売却、ふるさと納税にも力を入れてきました。

問 ※ネーミングライツを導入しては。

町長 杵築市の体育館のような事例を参考にしながら積極的に進めていきます。



積極的な財源確保策を

※ ネーミングライツ＝公共施設などに法人名などを「愛称」として付与し、施設の名称として使用する代わりにその命名権者から対価などを得て、施設の運営に活用する制度

障がい者タクシー補助の拡大を



【答】調査し、誰を加えるか決定します

質問者／熊谷（くまがい）　健作（けんさく）　議員（豊岡地区）

問 現行、障がい者のタクシー補助の制度は、どうなっていますか。

課長 外出や社会参加を促進する目的に、身体障害者手帳をお持ちで、下肢障害1級から3級の方で、3級の場合は上肢機能障害の1級または2級のある方、体幹機能障害の1級・2級の方、移動機能障害の1級から3級の方および精神障害者福祉手帳1級の方が対象となります。助成金額は年間2万4千円分のタクシー券を交付しています。

問 7年度の実績は。

課長 申請者は63名、利用金額は89万円。予算額168万円に対して79万円が不用額となっています。

問 重度の視覚障がい者の方を対象とした場合、対象者の数と予算の増額はいくらですか。

課長 重度1級・2級の方を対象とした場合は42名で単純計算で100万円になります。

問 不用額を考慮し、視覚障がい者をタクシー補助対象に加えられませんか。

町長 他にも対象があると思いますので、しっかり調査をして、最終的に誰を加えるか決定します。



視覚障がい者にも補助を

小動物捕獲報奨金の増額は

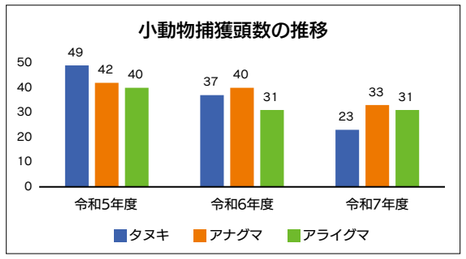


【答】猟友会と相談し検討します

質問者／上野（うえの）　満（みつる）　議員（大神地区）

問 農家の方から「小動物による農作物の被害が増えている。」と聞きましたが、最近の小動物捕獲頭数の推移は。

課長 グラフのとおりです。



問 ハクビシンは捕獲されていませんか。

課長 大分県ではあまり確認されていないと聞いています。

問 小動物の捕獲報奨金は現在、タヌキ、アナグマに1頭あたり2千円を支給していますが、増額する考えはありませんか。

課長 小動物でもイノシシなどの捕獲と同程度の手間がかかります。県でも報奨金の改定の動きがあるので、猟友会や関係課と相談して検討します。



農作物を食べちゃダメ

地方創生でハード整備を

【答】中長期のテーマとして検討します

YouTube

質問者／森（もり） 昭人（あきひと） 議員（日出地区）



問 令和元年度からの7カ年で地方創生交付金事業の総額は2億1千万円とされます。成果と課題は。

課長 日出町の魅力や認知度を高める施策を行い、移住定住を促進してきたことで転入人口が転出人口を上回るという社会増となっています。一方で、企業誘致、起業など、雇用の創出など十分な成果を生み出せていません。

問 これまでの地方創生交付金事業は、情報発信などソフト事業が中心でした。今後は次の10年を見据え、大神深江漁港、糸ヶ浜海浜公園、屋内遊戯施設などを町民や来訪者が集い、地域経済や新たな価値を生み出す「場」として、戦略的にハード面の整備や機能強化をしていく考えは。

副町長 ハード面の整備は、財政状況など制約を考えながら、中長期のテーマとしてしっかりと検討していきたいと思います。

問 日出ＩＣ周辺（藤原地区）の開発構想はまだ持っているのですか。

町長 地主の方々の意向調査をしながら対応していこうかということで、現状、定期的に庁内で会議しているところです。



魅力あふれる糸ヶ浜

母子避難所の設置は

【答】現状では難しいです

YouTube

質問者／河野（こうの） 美華（みか） 議員（川崎地区）



問 日出町男女共同参画推進条例施行後ちょうど20年ですが、町民意識調査では男女平等と感じている人が1割という結果に落胆しています。どう受け止めていますか。

課長 学校の調査では男女平等と感じているのは5割です。このことから、社会教育や学校以外では、まだまだ男性優位、男性が優遇されているという感覚を持っていると思いますので、社会教育のなかで啓発や学習会などの開催が必要だと思っています。

問 熊本地震の際、氷川町では防災計画に設置予定はなかったものの、必要性を強く感じた保健師たちが要望し母子避難所が開設されました。町の防災計画に母子避難所設置を明記できませんか。

室長 現状では母子専用の避難所はなく、適切な施設の選定と確保が必要となり難しいです。

問 女性の意見を取り入れることは災害対応力を強化し、防災会議などの意思決定の場への女性参画の重要性を感じます。町長の思いを聞かせてください。

町長 女性がどんどん活躍してほしいと思っています。できないというバイアスを取り外して対応していきたいです。



内閣府男女共同参画局
令和8年度版
男女共同参画白書
表紙抜粋

意思決定の場に女性を増やそう

町民Interview

Voice of townspeople

議員が町内を歩いてテーマをもとに
皆さまの声を聴きます

今回のテーマは「**休日の過ごし方**」です。



山田（やまだ） 小春（こはる）さん

休日もアクティブ

農大卒業後、牧場に就職。搾乳や子牛の世話のほかにも和牛への餌やりなど、毎日牛の世話をしながら癒されています。中休みを挟みますが長時間勤務となるため、就職したての頃は寝てばかりの休日でしたが、最近では自分磨きや彼が出場するイベント観戦、小学生のころから続けているバレーボールの練習など、有意義に過ごしてます。



森下（もりした） 和博（かずひろ）さん

楽しいスイーツ作り

クリスマスや家族の誕生日など、イベント前の休日はスイーツ作りを楽しんでいます。きっかけは子どもの誕生日ケーキを作りたいという気持ちから始まり、キャリア15年になりました。SNSでレシピを調べたり果物をたくさん飾りつけたり、楽しみながら作っています。できあがったお菓子を食べる時間はわが家の大切な楽しみです。



中野（なかの） 真一（しんいち）さん

子どものサッカー三昧

子どもがサッカーをしているので、練習や試合がある日は、車で送迎したり、グラウンドで応援したりしています。試合に勝った時はもちろんですが、一生懸命頑張っている姿を見るだけでも元気をもらえます。送迎は大変なこともありますが、子どもの成長を感じますし、今しかできないことだと思うと、それも含めて楽しんでいます。



鴨（かも） 佳司朗（けいしろう）さん

10年ぶりの

子どもが少年野球を始めたことをきっかけに、私自身も約10年ぶりに野球に携わるようになりました。休日はグラウンドで子どもの練習や試合を見守り、一緒に汗を流しています。子どもの成長を身近に感じながら、親子で過ごす休日を楽しみ、これからもたくさんの思い出を作っていきたいと思います。

ようこそ日出町へ

Vol.17



宮本（みやもと）　秀昭（ひであき）さん・弘美（ひろみ）さん
猫のれいちゃん

【藤原地区／別府市より移住】

理想の住まいを求めて

平屋に憧れて、家を持つなら平屋と決めていたというご夫婦。

勤務先が大分と別府のため、当初は別府市で探していたのですが、なかなか希望に合う土地が見つからず、別府市以外も視野に検討してみると、日出町も交通の利便性も良く住みやすそうだと思い、物件を見に行った時点で気に入ったそうです。

実際に暮らしてみると、明るいイメージは想像通り。仕事から帰ってきてからも、静かにゆっくり過ごせてとても気に入っているとのことでした。きれいな星空と、山の方から見下ろす別府湾の景色がお気に入りだそう。

「欲を言うなら、遅くまで開いているスーパーがあると助かります。それと、ときどき二人で食事に出かけるのですが、飲食店の選択肢がもう少し増えると嬉しいです」と奥様。

これからの日出町に望むことは？との質問に、「自然を残しながら発展してもらいたいですね」と答えてくれました。



12月定例会議の予定

11月
- 24日　議会運営委員会

12月
- 1日　本会議（初日）
- 3日　議会運営委員会
- 本会議（議案質疑・一般質問）
- 4日・7日　本会議（一般質問）
- 8日・9日　予算常任委員会
- 10日　総務産業常任委員会
- 11日　福祉文教常任委員会
- 14日　所管常任委員会（予備日）
- 15日　予算常任委員会
- 広報広聴常任委員会
- 16日　議会運営委員会
- 17日　全員協議会
- 21日　本会議（最終日）

●日程は変更になる場合があります。

議員は、公職選挙法に基づき以下の行為は禁止されています。

- 地域の行事やスポーツ大会への寄付や差し入れ
- お祭りへの寄付や差し入れ
- お中元やお歳暮
- 年賀状や暑中見舞いなど時候の挨拶
- 病気見舞い
- 葬式の花輪や供花
- 本人が出席しない場合の結婚祝や香典
- 初盆のお供えやご仏前

町民の皆さまのご理解をよろしくお願いします。

編集後記

今回の議会報では、一般質問を通じて町政の課題や今後の方向性についてお伝えしました。町民の皆さまが日々の暮らしのなかで感じる不安や疑問、地域が抱える課題に目を向け、その声を町政に届けることが議会の大切な役割です。行政の取り組みを確認するだけでなく、課題を明らかにし、具体的な改善につなげることが重要だと考えています。また、議会での議論や答弁を分かりやすくお伝えし、開かれた議会を目指してまいります。今後も現場に足を運び、皆さまの声に真摯に耳を傾けながら、安全で安心して暮らせる日出町の実現に向けて取り組んでまいります。引き続き、皆さまの率直なご意見やご要望をお寄せください。

（岡山　栄蔵）

広報広聴常任委員会
広報チーム
委員長　池田　淳子
委員　森　昭人
委員　豊岡　健太
委員　岡山　栄蔵
委員　今宮　明
委員　佐藤　孝介

議会などの審議の記録は町のホームページでもご覧いただけます。

日出町議会　検索

日出町議会公式SNS発信中！

Facebook　Instagram

日出町ホームページ・アドレス　https://www.town.hiji.lg.jp
〒879-1592　大分県速見郡日出町2974番地1　印刷／株式会社プリメディア